

鍼灸接骨院が取り組む介護事業

介護予防プログラムを实践 大阪市の介護予防委託事業所として

プレビック

ゆう鍼灸接骨院を運営するプレビック（本社大阪市、松村裕基社長、☎06-4706-9011）は、4月から大阪市の介護予防委託事業所として「運動機能向上プログラム」（委託期間2013年4月から2014年3月）をスタートした。

同社は、事業スタートから運動とケアを融合させたマンツーマンの介護予防プログラムを实践。これまでのマンツーマントレーニングで培ったノウハウをベースに、からだの構造に基づいた「運動機能向上プログラム」を提供する。



対象は65歳以上の健常者で、将来介護保険や医療保険を使わなくてもいいよう、「要支援、要介護状態になる前の方のロコモシンドローム予防対策を行っていきたい」としている。今後も、高齢者

の介護予防、転倒予防のためのプログラムを考案し、「健康の3本柱「運動」「食事」「休養」を提供していく」（松村社長）という。